

【P8～ はじめに まとめ 担当：ミズノ】

さあ、才能(じぶん)に目覚めよう&ストレングスファインダー
の目的

⇒世の中の企業に「強み革命」を起こすこと

「強み革命」とはなんだろう？

「最も得意な仕事をする機会に毎日恵まれているか？」という質問に対して
「恵まれている」と答えた従業員が多いほど

生産性・顧客満足度・従業員の定着率 が高い

しかし、現実には「最も得意な仕事をする機会に毎日恵まれているか？」という質問に対して
「恵まれている」と答えた従業員の割合は

⇒たったの 20%

※63ヵ国、101の企業で働く1700万人以上の従業員を調査

なぜ、20%の人しか「最も得意な仕事をする機会に毎日恵まれている」と感じていないのか？

理由：人に対する根本的な認識が間違っているから

▼人に対する二つの間違った認識

- × 1. 人はだれでもほとんどすべてのことにおいて、能力を発揮することができる。
- × 2. だれにとっても最も成長の余地があるのは、その人の一番弱い分野である。

どの企業も、この間違った認識により、弱点を克服させるために従業員を研修講座に送り込んでいる
しかし、これでは従業員の成長は見込めない、なぜなら？

▼人の才能に関する真実

- 1. 人の才能は一人ひとり独自のものであり、永続的なものである。
- 2. 成長の可能性を最も多く秘めているのは、一人ひとりが一番の強みとして持っている分野である。

すぐれたマネージャーは、上記の認識に基づいてさまざまな従業員に接していることが調査によりわかった

企業およびマネージャーは、
従業員の正確や能力は一人ひとり異なるという事実を踏まえて、そのちがいを活かそう！

すると企業に「強み革命」が起こり、企業が劇的に成長する

【個人的な補足点】

- ・主に企業目線で書かれているのだから
- ・「最も得意な仕事をする機会に毎日恵まれている」状態の個人の幸福度について
- ・弱みを克服しようががんばっていた過去の自分のエピソード